

子供たちの水難事故防止について



市町内には、農業の用水源として数多くの水路やため池等の農業水利施設があります。これらは、地域の農業を支えると共に、大雨時には洪水防止機能を有し一時的に貯留させ地域の治水に役立っています。農業用水は、使用後河川や地下水に還元され、水田や水路を通るうちに濾過され酸素を取り込んで、水の浄化を助け生物や豊かな自然環境を支えています。

毎年、田んぼで水を利用する時期、特に夏休みになると子供たちが水路やため池等で遊びに夢中になり、誤って転落する水難事故が全国的に後を絶ちません。

今般、県内においても小学生が水路に転落し死亡するという事故が発生いたしました。

このような痛ましい事故等を防ぐため、子供たちが水路やため池等で遊ばないよう、ご家族はもちろん地域の皆様のご指導、ご協力をお願い致します。

次のことに注意し、水難事故から、自分の、そして大切な家族の命を守りましょう。

- ・子供たちから目を離さない
その場にいながら、目を放した際に……
たとえ、わずかな時間でも
「目」「心」「手」をはなさないで!
- ・必ず保護者が同伴
子供たちだけの水遊びは危険です、保護者が同伴しましょう。
外出する子供には、必ず行き先を確認しましょう。
- ・地域の目
危ないと感じたら自分の子供でなくても注意しましょう。

重ねて大切なお子さんの命を守るため……

ため池・水路はあぶないよ!

ちかよらない!

あそばない!

あそばせない!

稲敷市

河内町

新利根川土地改良区